



ロボット支援手術 開始

■ 消化器外科主な適応疾患 ■ 直腸がん・結腸がん ■ ■ ■



執刀医：藤田医師

体への負担が少ない

数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく出血も抑えられます。手術後の回復が早く、患者様の負担が軽減されます。

低侵襲手術支援ロボット実績

ダビンチは今日までに世界中でさまざまな外科手術で使用されてきました。

鮮明な3D画像

インソールモニターには、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。

精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダビンチの鉗子はリスト構造を持ち人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。

